

2021年3月期
通期業績予想の修正に関する説明会

東海旅客鉄道株式会社

2021年2月22日

○修正の理由

本年1月に発令された政府による緊急事態宣言を受け、鉄道等のご利用が一段と落ち込んでいたところ、本年2月に緊急事態宣言の延長が決定され、引き続き鉄道等のご利用が低調であることから、2021年3月期の通期業績予想について下方修正します。

○修正の考え方

【**単体**】

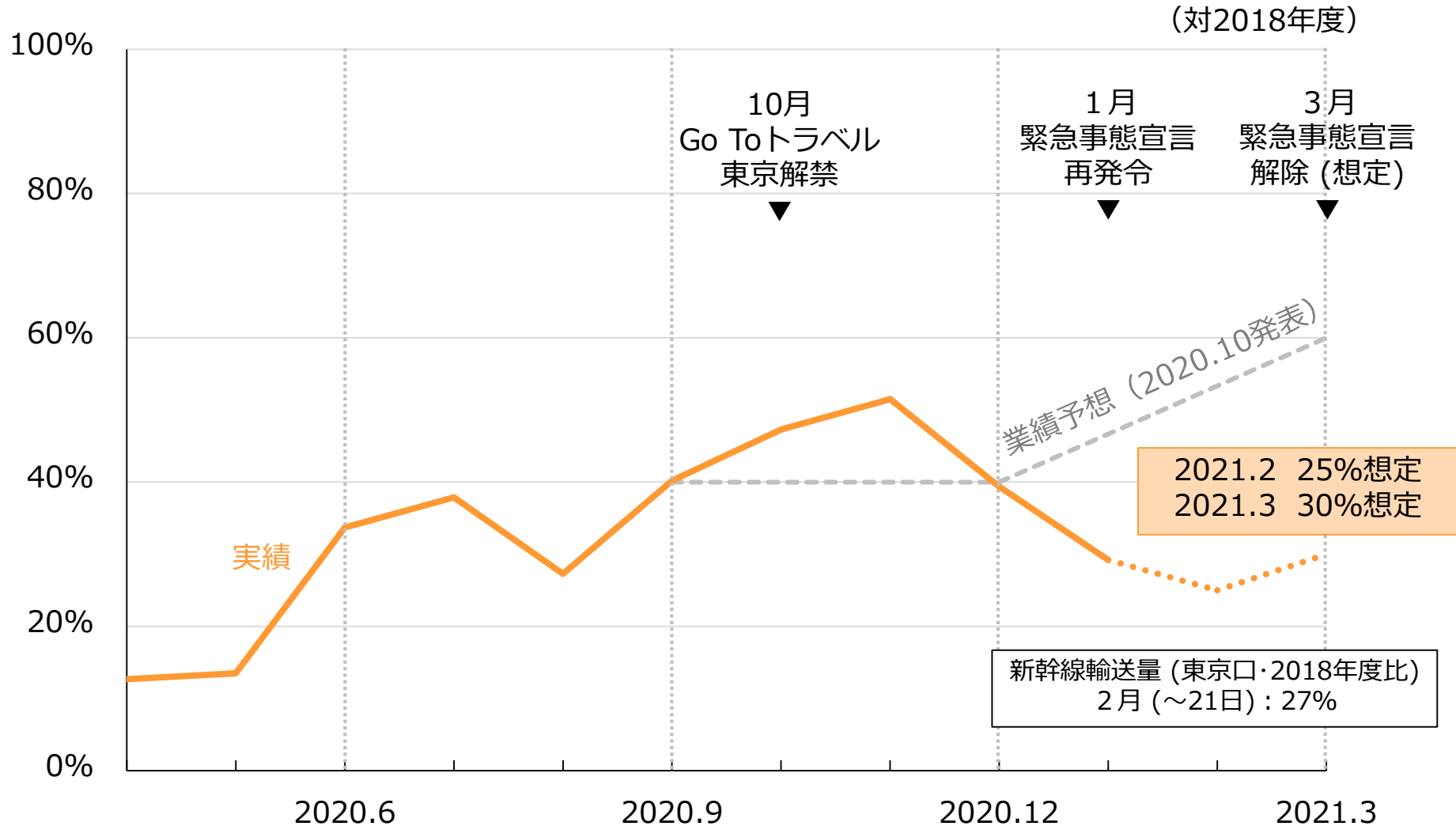
収入：緊急事態宣言の解除（3/8想定）まで足元の状況が継続し、その後上昇すると想定

費用：現時点で明らかな費用減のみ見込む

【**連結**】

単体修正に加えて、グループ会社の収入・費用を修正

◆ 運輸収入の推移・見通し



2021年3月期 通期業績予想（単体）の修正

（億円）

	2020年3月期 実績 A	2021年3月期 前回予想 B	2021年3月期 今回予想 C	対 前年実績 (C-A)	対 前回予想 (C-B)
営業収益 (運輸収入)	14,369 (13,656)	5,820 (5,160)	5,190 (4,530)	△9,179 (△9,126)	△630 (△630)
営業費	8,139	7,530	7,460	△679	△70
人件費	1,751	1,740	1,690	△61	△50
物件費	4,013	3,660	3,640	△373	△20
動力費	433	390	390	△43	—
修繕費	1,561	1,440	1,440	△121	—
業務費	2,019	1,830	1,810	△209	△20
租税公課	418	330	330	△88	—
減価償却費	1,955	1,800	1,800	△155	—
営業損益	6,230	△1,710	△2,270	△8,500	△560
経常損益	5,400	△2,470	△3,030	△8,430	△560
当期純損益	3,788	△1,870	△2,260	△6,048	△390

2021年3月期 通期業績予想（連結）の修正

(億円)

	2020年3月期 実績 A	2021年3月期 前回予想 B	2021年3月期 今回予想 C	対 前年実績 (C-A)	対 前回予想 (C-B)
営業収益	18,446	8,630	7,930	△10,516	△700
運輸業	14,312	5,730	5,100	△9,212	△630
流通業	2,632	1,770	1,710	△922	△60
不動産業	799	700	700	△99	—
その他	2,722	2,470	2,460	△262	△10
営業費	11,884	10,480	10,370	△1,514	△110
営業損益	6,561	△1,850	△2,440	△9,001	△590
運輸業	6,176	△1,790	△2,350	△8,526	△560
流通業	74	△130	△150	△224	△20
不動産業	190	130	130	△60	—
その他	135	△40	△50	△185	△10
経常損益	5,742	△2,580	△3,170	△8,912	△590
親会社株主に帰属する 当期純損益	3,978	△1,920	△2,340	△6,318	△420

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業損益と一致しません。

◆新型コロナウイルス感染症の収入への影響 (前年度との比較)

- ・ 営業収益（単体）への影響： $\Delta 9,130$ 億円程度
- ・ 営業収益（連結）への影響： $\Delta 10,510$ 億円程度

(参考) 各セグメントにおける影響

セグメント	収入への影響	概要
運輸業	$\Delta 9,160$ 億円程度	運輸収入の減、等
流通業	$\Delta 1,010$ 億円程度	百貨店・店舗売上の減、等
不動産業	$\Delta 90$ 億円程度	各地区における駅ビル収入の減、等
その他	$\Delta 250$ 億円程度	宿泊収入や旅行商品収入の減、等

本資料に記載されている将来の計画や予想数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の経営成績、業績等は、本資料の予想値と大きく異なる結果となる可能性があります。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更、自然災害等が挙げられます。